

1. 日 時 平成 29 年 2 月 14 日 (火) 20 時～
2. 場 所 高知県庁 正庁ホール
3. 出席者 部会員 7 名 (1 名欠席)、事務局 3 名

### 【議事概要】

#### (1) 乳がん検診の実績等について

##### ○平成 27 年度 市町村乳がん検診の実績について (資料 1)

- ・市町村が実施するがん検診の、受診者数、精検者数、精検結果等について報告。  
受診率が 21.4% から 15.4% に大幅に減少した理由は、分母となる対象者数の考え方が 27 年度から変更となり、これまで対象者に含めていなかった職域で受診できる人も対象者に含めたためであること説明。

##### ○平成 27 年度 県全体のがん検診の実施状況調査結果について (資料 2)

- ・資料 1 の実績数に加え、職場で実施される検診等 (以下、職域検診という) を含めた県全体の単年度の受診率について報告。県内の主な医療機関に報告を依頼し、乳がんは 20 機関から報告をいただく。
- ・2 ページの①と②の表  
職域検診の報告依頼項目は、受診者数・要精検者数・精検受診者数・精検結果の 4 項目であるが、情報提供可能な範囲での報告でかまわないこととしていることから、4 項目全ての報告をいただいた機関と、受診者数のみの報告をいただいた機関の情報をそのまま合算すると、精度管理状況が比較できないことから、4 項目全て報告いただいた 14 機関分の実績と市町村検診の実績を合算した表①と、2 項目 (受診者数・要精検者数) までは 20 機関全てから報告いただいたことから 20 機関の実績と、市町村検診の実績を合算した表②とに分けて分析したこと報告。
- ・2 ページ下段の表 (40 歳以上の集計の年次変化を掲載)  
前年から、受診者数は微増。がん発見数は 26 年度の 90 人から 98 人に増。がん発見率・陽性反応的中度も上昇。
- ・職域検診の報告数の中に、視触診のみの検診が含まれているかとの質問があり、含まれている事説明。平成 28 年 2 月に国のがん検診指針が改正され、視触診は推奨しないこととなったことから、28 年度からはやめるべきとの意見があった。
- ・県のホームページで視触診のみの検診はやめるべきとの啓発をしたらどうか、市町村向けの啓発も必要との発言があった。

##### ○平成 28 年度 各種検診の検診費用徴収額調べについて (資料 3)

- ・市町村検診時に住民から徴収する自己負担額について報告。  
表ページは自己負担額が安い順に並べた表であること、裏ページは市町村順に並べた表であること説明。
- ・乳がんについては、右から 2 つ目の表に表記。  
グレーで着色している箇所が、27 年度と変更のあった箇所であること説明。
- ・28 年 5 月に当該表を作成中に、大川村の検診対象年齢が 40 歳から 20 歳に変更している事に気づき、村に対して乳腺が発達している若年者に対してマンモグラフィ検診は適していないこと説明したが、既に 4 月に検診実施済みであったこと報告。  
翌年からは 40 歳未満の者へのマンモ検診はやめるよう委員からも発言あり。

## (2) 受診率向上対策について

### ○クーポン事業での乳がん検診の実施状況について (資料4)

- ・1ページ目で、平成21年度～27年度までの受診状況について報告。
- ・2ページ目で、平成21年度からの事業の変遷を説明。29年度は、40歳の方のみが無料クーポン事業の対象となること報告 (45. 50. 55. 60歳の方は対象外となる。) 無料クーポン配布対象を限定する代わりに、40～69歳の方への個別通知や再勧奨に要する費用が補助対象となったこと報告。

### ○医療機関での土日個別検診について (資料5)

- ・27年度に引き続き28年度は3機関に協力いただき、通常開院していない日曜日に、医療機関を開けていただき検診を実施したこと報告。乳がん検診は仁淀病院に協力いただいたが、実績は0件であったこと、2年連続で受診者が増えなかったことから、わざわざ開院いただく事業は29年度は廃止すること報告。
- ・資料5のチラシ自体は、年間通して土日検診を実施している医療機関を紹介しているものであり、29年度も印刷は継続すること報告。

## (3) 乳がん検診精度管理調査結果について (資料6)

- ・市町村及び医療機関に調査を実施した精度管理状況について結果を報告。
- ・今回は、全国と高知の比較について、報告するようとの意見があった。

## (4) その他

### ①部会長より

#### ○診療型検診の状況 (資料7)

- ・昨年度に引き続き、やまかわ乳腺クリニックと、伊藤外科乳腺クリニックから診療型検診の報告をいただいたことから、その概要を報告。29年は、高知赤十字病院も協力いただける事を確認。

#### ○撮影技師の資格問題について (参考資料5)

- ・高知県の場合、日本乳がん検診精度管理中央機構の施設画像認定を受けた施設とのみ市町村検診の受託が可能としているが、撮影する技師の資格も重要とのことから、現在の状況を報告。中央機構のホームページ上では、高知生協病院と、仁淀病院に認定技師が不在となっていることから、本当にそうか確認するよう委員から発言あり。  
(施設画像認定施設となっていることから、認定技師もいるはずとの発言あり)
- ・県内で、技師向けの研修を開催しているが、高知県内の技師の参加が少ないことから、積極的に参加するようとの発言あり。

#### ○デンスブレストに対する対応

- ・デンスブレストについて、最近話題に上がることが多くなっているが、高知県としてどうするかについて意見交換をした。
- ・動向を見守るのでいいのではないかとの意見があった。  
デンスブレストが本当に危険かわかっていない状況で動くのは時期尚早との意見があった。

#### ○2次読影前の精密検査の実施について

- ・医療機関での個別検診時に、1次読影の段階で明らかにがんとわかる所見があった場合、2次読影の結果を待たずに精密検査をすることについて意見交換した。
- ・個別検診用のマニュアルの中で、1次読影と2次読影で意見が分かされると、受診者が混乱

するので、1次検査結果は受診者に伝えないこととなっていることから、2次読影の結果前に精密検査はすべきではないとの意見があった。

- ・2次の結果を待つまでに早急に精密検査を実施しないといけない事例はまずないとの意見があった。
- ・原則、2次読影の結果を待ってから対応することを確認した。

## ②「高知県在宅保健活動者なでしこの会」の活動報告（資料8）

- ・秋田委員から、なでしこ会の活動実績について報告があった。

## ③地域がん登録の登録状況について（資料9）

- ・地域がん登録の2012年の全国状況を追加した資料を配布。
- ・高知県の状況は本来2013年の状況を報告する時期ではあるが、全国がん登録システムへデータ移行中であり、正確な統計がまだ出ていないことから、今回は報告しない事を説明。